

**製品名: TBLR1 (6N18) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe18694**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	56kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TBL1XR1
別名	C21; DC42; IRA1; TBL1XR1;
遺伝子 ID	79718.0
SwissProt ID	Q9BZK7
免疫原	ヒト TBLR1 の合成ペプチド

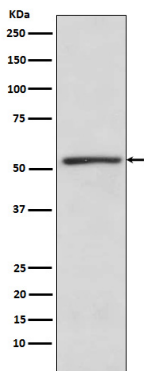
**背景**

F-box 様タンパク質は、ユビキチン/19S プロテアソーム複合体を核受容体制御転写ユニットにリクルートする際に関与する。核受容体を介した転写活性化において重要な役割を果たす。F-box 様タンパク質は、ユビキチン/19S プロテアソーム複合体を核受容体制御転写ユニットにリクルートする際に関与する。核受容体を介した転写活性化において重要な役割を果たす。おそらく、19S プロテアソーム複合体のリクルートを仲介する N-Cor コリプレッサー複合体の不可欠な構成要素として機能し、その後のプロテアソームによる N-Cor 複合体の分解を促し、それによって補因子交換と転写活性化を可能にする。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



K562 細胞溶解物中の TBLR1 発現のウエスタンブロット解析。